キャラクター名: 七矢 真（ななや まこと）

プレイヤー名:

シンドローム	サラマンダー サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	
オプショナル		年齢	17歳	性別	男
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	38 %
出自	疎まれた子：母親	経験	純然培養	邂逅	友人：箱柳日傚(はこやなぎ ひかげ)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	0	1	0			1
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	30
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃	2		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
コンボ（0%～）	白兵	9r+10	4	34		
コンボ（100%～）	白兵	10r+10	4	39		
コンボ（160%～）	白兵	11r+10	4	44		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
疎まれた子/母親	P 好奇心	N 無関心		
精鋭：白兵	P	N		
友人/箱柳日傚(はこやなぎ ひかげ)	P 友情	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ：サラマンダー	2	2	ﾒｼﾞｬｰ/ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	-	-	-	
効果：	C値-LV（下限7）							
クイックダッシュ	2	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う。1ｼﾅLV回。							
白熱	1	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	技能：白兵　命中：0　攻撃力+[LV+5]　ガード値：4　射程：至近							
氷の加護	7	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	攻撃力+[LV×2]する。							
炎の刃	7	2	ﾒｼﾞｬｰ/白兵	武器	-	対決	-	
効果：	攻撃力+[LX×2]する。							
結合粉砕	5	4	ﾒｼﾞｬｰ/ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	-	対決	ﾋﾟｭｱ	
効果：	判定ﾀﾞｲｽ+LV個　装甲無視							
温度調節	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	熱の管理技術が達人の域。							
炎の理	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	効果参照	自動	-	
効果：	炎を作り出す。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

2021/10/10、2021/10/17、2021/11/03「Bridges 4 Burns」（GM：ojiさん　PL：廉さん、すみさん、ほのたまさん、或）

■話し方
一人称：おれ　二人称：お前、あんた、あなた
ハッキリとしたストレートな喋り方。思ったことをそのまま言ってしまうことも多い。
敬語が苦手で目上の人にも敬語を使うことはあまりなく、聞きようによっては少し尊大に聞こえる。
「おれは七矢真。「コクーン」で訓練を受けているオーヴァードだ。今回はよろしく頼む」
「何故不思議そうな顔をするんだ？　おれはなにか変なことを言っただろうか？」
「おれはおれが正しいと思ったことをする。文句があるならねじ伏せてみろ」

■性格
真面目で努力家。感情が顔に出にくいが感情自体は豊か。仲間想い。
自分が正しいと思ったことを貫く芯の強さがあるが、納得できないことには反抗的になる一面もある。
態度が淡々としているため冷静に見えるが、直情径行型で好戦的。割とすぐ喧嘩腰になる。コードネームに「スパーク」がついた一因。
赤子の頃から「コクーン」で育ってきたため世間一般の常識や感覚とズレているところがあり、大真面目に天然ボケをかますことも。

■その他設定
コードネームの「青い火花」は、纏う炎の温度が高く青いことと、パチッと飛び散る火花のように好戦的な性格から。
本人は知る由もないが、産まれたての赤子のときに炎を出し母親が火傷を負ったことをきっかけに母親から疎まれ捨てられる。
元々いなかったものなので、両親に対する憧れのようなものはなく、身の回りにあったものが自分にとっては普通で大切。